

## 編集 後記

第49巻・第3号は原著論文2本、公衆衛生活動報告2本、資料4本から成っている。公衆衛生の研究対象は幅広く、またその時代時代に特徴的なテーマが追求される。本号でもその感を強くする。

昨年秋の第60回本学会総会のまとめも掲載されている。高松における第60回の記念大会の感動が蘇る思いがする。この記録をみても、日本の公衆衛生を支えるエネルギーと関心の多様さが伝わってくる。次の10年でどのような変化が起こるのであろうか。大きくなった日本公衆衛生学会が学術や実践経験の交流の場として、参加する人々に感動を与え続けてほしいと願っている。

また「第1回座談会」では、日本における公衆衛生の誕生から、結核、母子保健、がん対策、環境保健など各時代の主要テーマにどのようにかわり、変貌を遂げてきたか、キーパーソンの諸先生が語る生々しい記録である。ぜひご一読をお勧めする。

座談会記事にも登場しているが、3月2日、国立公衆衛生院は一部の実験系を中心とする学部以外の学部および事務部門、図書館等が白金庁舎から埼玉県和光市に移った。昭和13年創立から数えると64年となる。新しい機関は国立公衆衛生院の組織の大部分と国立医療・病院管理研究所が合同したもので国立保健医療科学院という名称で4月よりスタートすることになっている。日本の公衆衛生の歩みと共にあった公衆衛生院が、新しい革袋に入り、次なる展開をどのように遂げるかを期待したい。

(衛藤 隆)

## 次号予告

### 総説

高齢者における転倒予防介入プログラムの有効性に関する文献的考察……………金成由美子, 他

### 原著

乳幼児を持つ母親の精神的健康度に及ぼすソーシャルサポートの影響……………藤田太輔, 他  
社会医療診療行為別調査を用いた人工呼吸器使用期間と医療費への影響に関する分析

……………渡辺 励, 他  
成人における甘味食品摂取と口腔内状況との関連……………井出玲子, 他  
脂質関連栄養素の適用摂取を目標とした地域住民に対する個別栄養教育の介入効果

……………天野信子, 他

### 資料

乳幼児における鉄欠乏貧血の有病率……………渡邊次夫, 他

滋賀県における死亡状況と栄養状況との関連……………小嶋美穂子, 他

多胎児の妊娠期間別出生体重基準の試作……………加藤則子, 他

## 「国立環境研究所公開シンポジウム2002」の開催案内について

### ●テーマ

「環境 温故知新 ―地球環境の履歴から将来を考える―」

### ●日時

平成14年 6月19日(水) 10:00~17:00

### ●場所

メルパルクホール (東京都港区芝公園 2-5-20)

### ●主催

独立行政法人 国立環境研究所

### ●参加費

無料

### ●内容

環境汚染や環境改善技術・環境計測法などに関わる過去の歴史・経験をふまえ、それを生かしながら、将来にわたる環境問題の解決を計ろうとする所内研究のいくつかを紹介いたします。

### ●問い合わせ先

社団法人 国際環境研究協会 (東京都港区芝公園 3-1-13)

TEL: 03-3432-1844 FAX: 03-3432-1975 E-mail: sympo@airies.or.jp

## 第15回日本循環器病予防セミナー開催要綱

期 日 平成14年7月14日(日)～19日(金)

場 所 石川県・加賀観光ホテル

主 催 社団法人日本循環器管理研究協議会 財団法人日本心臓財団

後 援 (予定) 日本医師会 日本循環器学会 日本脳卒中学会 日本高血圧学会  
日本公衆衛生学会 日本疫学会 日本保険医学会 日本産業衛生学会

### セミナーの内容：講義と演習

疫学手法の基礎、臨床疫学・EBM、運動疫学、栄養疫学

疫学と臨床医学：①脳卒中・心疾患のリスク・ファクター

②高血圧・高脂血症・糖尿病のガイドラインを考える

特別講演：代表的疫学研究紹介など

演習：疫学・臨床疫学研究プロトコール作成

### 講師・受講生(予定)

講 師 18名

受講生 50名(原則として医師および大学院生・研究生、再受講者歓迎、公募の上決定)

受講料 資料代、講師経費、会場費、事務費、宿泊代、食事代(3食)として7万円  
(セミナー会場までの往復交通費は受講生負担)

### 受講申し込み

所定の申込書にて4月30日までに事務局に申し込むこと。

5月末日までに選考の上通知する。申込書は事務局まで請求のこと。

### 事務局(申し込み・問い合わせ)

社団法人日本循環器管理研究協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-48-10 25 山京ビル305号

TEL 03-3989-0680 FAX 03-3989-0953

組 織 組織委員長 上田一雄(日本循環器管理研究協議会理事長)

実行委員長 中川秀昭(金沢医科大学公衆衛生学教授)